

介護Techの評価手法の確立

介護Techの導入評価フレームワークの開発

【目標】

介護施設において介護Tech（介護ロボット・ICT等）が効果的に活用されるため、導入時の適切な意思決定のための評価手法を確立し、持続可能な介護事業モデルの構築につなげる。

【方法】

介護施設における介護テクノロジーの効果的な導入・活用のあり方に関する調査研究、および導入時の適切な意思決定のための評価方法に関する研究を行う。施設管理者・職員が活用しやすい、介護Tech導入評価フレームワークを策定・展開することで、業界全体の課題解決を目指す。



介護Tech導入時の課題



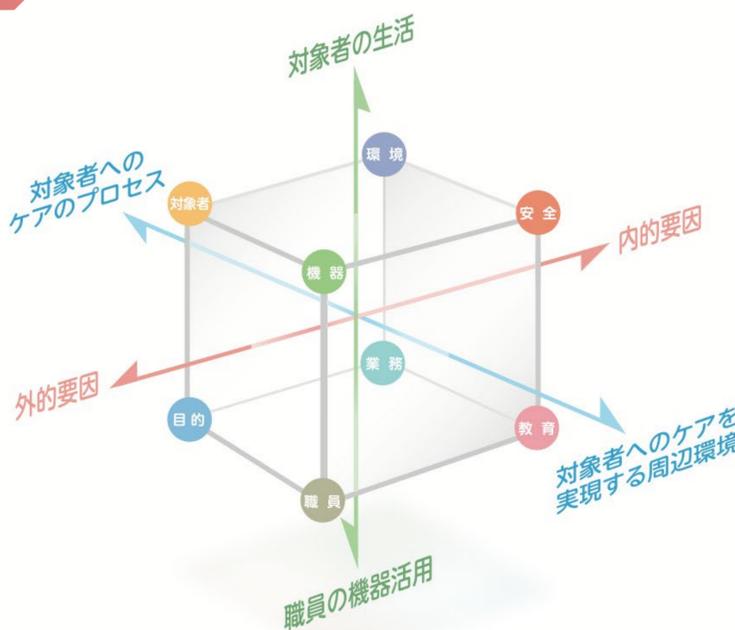
- 不十分な事前評価
- 業務負担、安全性の課題
- 効果的に使いこなせない

介護Techの導入における適切な意思決定のための評価方法が必要



介護事業者に導入された介護Techが、その後、使われずに無駄になっている状況に着目

介護Tech導入の包括的な検討のための8つの観点



目的	目的を明確にすること
対象者	対象者像を明確にする(確認すること)
機器	機器について事前に確認すること
安全	安全な使用のために事前に確認すること
環境	使用環境にあっていること
業務	業務の妨げにならないこと(業務の変更も含む)
職員	職員側の受け入れ準備ができていないこと
教育	教育体制を整備すること

介護現場における介護Tech導入の検討を容易にするための検討項目を「8つの観点」として整理した。

介護Tech 導入検討時に評価すべき「8つの観点」を確認するためのツール「介護Tech 導入評価チェックシート」を作成。導入時の方針策定と機器選定時に必要となる要素を包括的に検討することを支援する。



介護現場におけるテクノロジーの効果的活用のための評価手法検討委員会 最終報告書

2023年3月に設立した「介護現場におけるテクノロジーの効果的活用のための評価手法検討委員会」における議論を取りまとめ、最終報告書として公表。本報告書は、介護現場における介護テクノロジーが介護現場で効果的に活用されることを目的として、導入時に必要と考えられる評価の視点・手法・項目等についての検討結果をまとめたものです。

